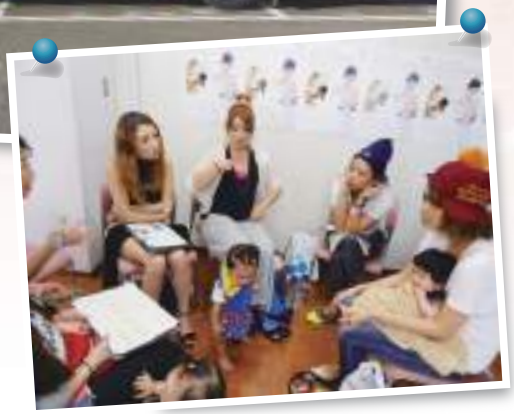
ともしび

第138号
平成26年1月1日

題字は(故)黒川利雄博士

宮城県がん征圧イメージキャラクター



検診の特色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理

目　次

新春のご挨拶……2
胃がん検診の偶発症と対策……3
イベント報告……7～10
みやぎよろこびの会活動報告……11
公開講座・リボンムーブメントみやぎ……12
がん総合相談のご紹介・お知らせ・ご寄付をいただいた方々……13～15
「黒川利雄がん研究基金」研究助成金希望者募集……16

公益財団法人　宮城県対がん協会

新春のご挨拶

公益財団法人
宮城県対がん協会
会長　久　道　　茂

新年明けましておめでとうございます。

東日本大震災以来約３年が経ちました。震災復興のために多くの国費がつぎ込まれておりますが、仮設住宅の解消、鉄道、港湾施設などの復旧工事はなかなか思うようにはいきません。建築工事関連の人材不足や建築土木資材の高騰などが響いて復旧のスピードが遅々として進まないからです。そんな中、昨年はプロ野球東北楽天のリーグ優勝と日本一が達成されて、被災地に勇気と希望、喜びと感謝の心を与えてくれました。東北復興の起爆剤になってくれたらと願わずにはいられません。

宮城県対がん協会は、全国に先駆けて組織的ながん集団検診を開始し、以来がん予防事業を通じて、宮城県民のがん発生の予防とがん死を減少させるため寄与してまいりました。

それは、早期発見・早期治療のための精度の高いがん検診を普及し受診率を上げることで達成されます。そのために、がん検診センターの医師を中心に各種診断委員会の先生方や技師、保健師、病歴管理士や事務職員らが協会独自の研究費や厚生労働省などの外部研究費を得てがん予防や検診に関する研究を行っていますし、黒川利雄がん研究基金を用いて全国に公募し、若手がん研究者に対する研究助成も行っています。その他、検診受診勧奨事業、大学等への研究助成、地域がん登録、検診の精度向上のための精度管理事業、がん患者のための相談事業など多くの事業を行ってまいりました。これら全て公益事業でありますが、平成24年４月から本協会が公益財団法人になったことから、公益財団法人らしい事業として「がんの一次予防」と「がん対策普及啓発のための募金活動」などに一層の力を注ぎたいと考えております。

昨年から、本協会に賛助会費、維持会費および篤志寄付などのご寄付をして頂いた個人、法人、団体の方々に対する会長名の御礼の手紙に私からの感謝の文を直に付け加えさせていただいております。その作業の中で感じたことは、こんなにも多くの方々ががん対策に関する公益事業のためにとご寄付をして頂いているということ、しかも、毎年欠かさず継続していただいている方が多いということを知り、感激しながら御礼文を書いたことでした。それにしても、われわれ職員一同は、そのような方々の気持ちを酌み公益財団法人らしい事業の展開と推進に邁進する覚悟であります。本年もよろしくお願いします。

胃がん検診の偶発症と対策

～胃がん検診を安全に受けていただくための宮城県対がん協会の取り組み～

公益財団法人 宮城県対がん協会
消化器担当科長 **加　藤　勝　章**

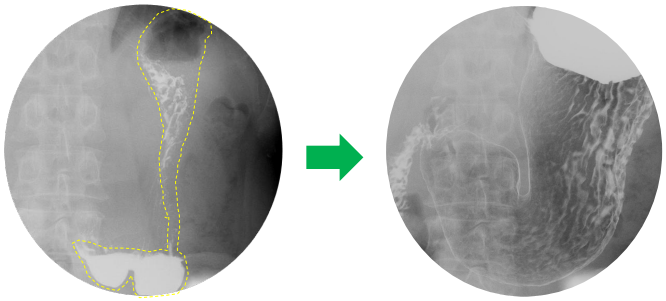
1　胃がん検診でなぜバリウムを飲まなければならないか

胃がん検診というと、白くてまずいバリウムとおなかを膨らます薬（これを発泡剤と言います）を飲んで固い台のうえを転がりながらX線で撮影する検査を思い浮かべることと思います。胃がん検診以外でも、X線またはレントゲン撮影は乳がん検診や肺がん検診でも使われますし、また、風邪やお腹が痛くて病院に行って胸やお腹の写真を撮られたり、骨折などで整形外科に行ったときに検査されたことがあると思います。しかし、これらX線検査ではバリウムを飲むことはありません。同じX線検査なのに、なぜ、胃がん検診の時はバリウムと発泡剤を飲まなければならないのでしょうか？

胃X線検査でバリウムや発泡剤を飲むのは、X線だけでは胃の形が見えないからで、胃を膨らませて胃の壁に薄くバリウムをつけることではじめて胃の形がX線を使って見ることができるようになるのです。固い台のうえでゴロゴロ回転していただくのは、胃の壁にまんべんなくバリウムをくっつけるためであり、また、ゲップをがまんしなければならないのは、胃がしぼんでしまうと胃の壁の様子が分からなくなってしまうからです（図１）。

人に造影剤を与える場合、まず大事なことは人体に無害であることです。胃や腸を造影する場合は、胃や腸で吸収されず、胃や腸の働きに影響せず、そのまま体の外に排泄される物質が選ばれます。現在、胃X線検査で使われている硫酸バリウムは1910年（明治43年）にドイツのC.Bachemらが用い始めたもので、以来100年以上もの間、ずっと使われ続けている造影剤です。とはいえ、100％安全というわけではありません。

図１　バリウムと発泡剤を使った胃Ｘ線検査（二重造影法）



空腹時の胃（バリウムを少量飲んだ状態）胃はX線を透すのでバリウムを使わないと胃の形が全く分からない。

発泡剤で胃を膨らまして回転すると胃の壁にバリウムがまんべんなく付着して胃の形がわかるようになる。

2　バリウムによる偶発症とは?－検査後に起こる腸閉塞や腸穿孔－

胃X線検査に伴うバリウム偶発症として最も懸念されるのは、バリウムのアレルギー、誤嚥、便秘・腸閉塞・腸穿孔です（表１）。当協会の胃がん検診でも、最近ご高齢の受診者が増加し、誤嚥や排便困難等のトラブルが増加してきています。

硫酸バリウムは体内に吸収されませんから、これ自体がアレルギー反応を起こすことは考えにくいのですが、胃X線検査で使われるバリウム製剤には様々な添加物が加えられているため、体質によってはじんましんのような軽微なアレルギー反応から極めて稀ですがアナフィラキシーショックと呼ばれる重篤な状態に陥ることがあり

表１　胃Ｘ線検査による胃がん検診の偶発症

	平成10～14年度	平成23年度	平成24年度
胃がん検診受検者	1,012,976人	179,579人	180,932人
偶発症	118例	45例	68例
誤嚥	100例	24例	33例
吐気･嘔吐	8例	1例	0例
腸閉塞	4例 (0.000004%)	1例 (0.000006%)	2例 (0.000011%)
便秘･バリウム残存	4例 (0.000004%)	16例 (0.00009%)	29例 (0.00016%)
その他	2例	3例	5例

ます。バリウム検査を受けて一度でもアレルギー症状を起こしたことがある方はバリウム検査禁忌ですので、絶対に検査を受けないで下さい。

バリウム誤嚥は胃X線検査の偶発症として最も頻度が高いものです。誤嚥とはバリウムを飲むときに誤って気管や肺に入ってしまうことを言います。ご高齢の方、男性の方、脳卒中やパーキンソン病などの基礎疾患があり、日頃からむせ込みやすい方は要注意です。誤嚥したバリウムは、殆どの場合は咳や痰によって排泄されてしまいます。稀に肺炎を起こすことがありますが、抗生剤などで治療すれば治りますし、万が一、肺の中で固まって塊が残っても人体には全く影響しません。

胃がん検診の検査後に起こる偶発症としてはバリウム排泄に関するトラブルがあります。その多くは便秘に関するものですが、検査後に早めに食事をとり、水分を多く摂取し、下剤を正しく服用していただければ殆どが防げるものです。稀にですが、腸閉塞から腸穿孔を起こし、外科手術をして一時的に人工肛門を作ってもらわなければならないような重症な事態を招いてしまう場合もあります。ここまでひどくなる方の原因として、検査後の注意をきちんと守らず、バリウムが残ったまま放置して腹痛やお腹の張りがあっても数日間がまんしていた、あるいは、自己判断で無理な浣腸をかけたために腸が破けてしまった、といったことが挙げられます。

3 糞便排泄の仕組み−便秘と下剤の働き−

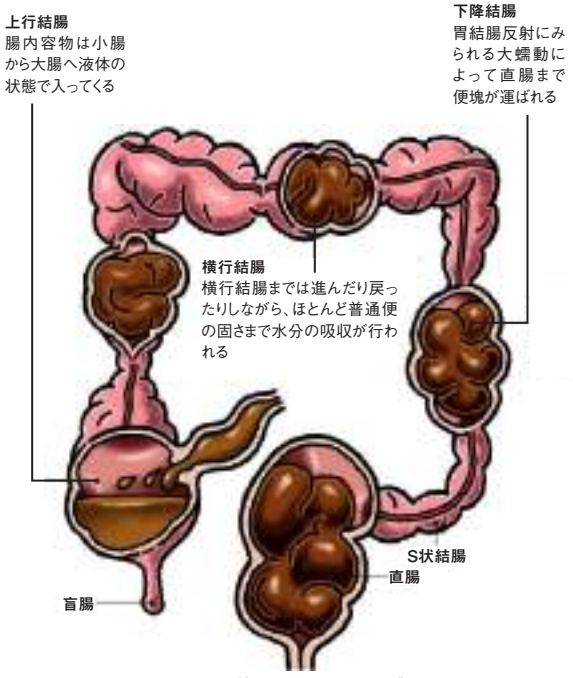
つぎに、バリウムによる腸閉塞や腸穿孔の予防のために検査後に注意すべき事項をより理解していただくために、排便や下剤に関する基礎知識を解説します。

（1）糞便が形成されるまで

食べ物を食べると胃や膵臓などから出される消化液で粥状に消化され、小腸で栄養分が吸収されます。消化しきれなかった食物線維などのカスがどろどろの状態で大腸に流れ込み、大腸を通過する間に水分が吸収されて固形の糞便になり肛門から排泄されます（図２）。糞便の形は大腸を進む早さに関係しており、大腸を素通りすれば水のような便になり、ゆっくり進めば固いコロコロした便になります（図３）。糞便は食べ物のカスですから、食べ物の量が多くなれば糞便の量も多くなります。とくに人の体内で消化できない食物線維を多く含む野菜や海藻などの食品は糞便の保水力も高く、糞便の量を増やし柔らかくする効果があります。さらに、運動や規則正しい生活なども排便を促す重要な要素です。

正常な排便頻度はおよそ1日3回から3日に1回の範囲でさまざまですが、ここから外れている人も多数います。日常生活に支障が無く、腹満感や腹痛などの症状がなければ、どのような頻度でも問題ありません。毎日排便がないから便秘である、というのは間違いです。便秘とは日常の排便習慣と比べて排便頻度や排便量が減少して、腹満感や腹痛、残便感などの不快な自覚症状が現れた場合を指します。

図２　大腸における糞便の形成



神山剛一:月刊ナーシング　Vol.26 No.11 2006.10

図３　ブリストルスケールによる便の正常分類

ユニチャーム　排泄ケアナビhttp://www.carenavi.jp/jissen/mechanism/shouka_03.html

（2）便秘のタイプ

機能性便秘には大きく3つのタイプがあります（表2）。①弛緩性便秘とは大腸の糞便を押し出す筋力が低下して糞便の水分の吸収が進み硬い糞便となるタイプです。②けいれん性便秘とは腸管が強く収縮して逆に糞便の輸送が障害され便秘となるもので、この場合はポロポロしたウサギの糞便のようになることが多いと言われています。糞便やガスがたまっていなくとも腸が攣縮すると“腹が張る”という自覚症状が出ることがあります。③直性便秘とは、ふつう糞便が肛門に達すると直腸肛門反射によって便意が起こりますが、この反射が神経疾患や乱れた排便習慣（便意があっても我慢する）などのため弱くなって便意を感じなくなることが原因でおこる便秘です。

最近、美容やダイエット、健康食品などで“宿便”が話題にされることがあります。宿便というと腸の壁にべったりと張り付いた古い便というイメージがありますが、それは誤りです。便がなかなか排泄されず長時間腸の中に留まっていると、便から水分が失われ固いコロコロした便になります。こうした固いコロコロした便は大腸内視鏡検査を行えば、何ら症状のない人でもふつうに見かけます。たしかに、老廃物が体内に長時間滞留していると悪玉菌で腐敗し、毒物と悪臭（おなら）を産生することがありますが、宿便があると言うだけでは特に病的な状態であるとは言えません。また、固い便が肛門の近くで貯まってしまい自力で排泄できなくなる場合があります。これを“嵌入便（かんにゅうべん）”といいます。ご高齢の方や寝たきりに方などに起こりますが、固い便が肛門に詰まって痛くて指で掻き出したといった経験がある方もいると思います。

こうした便秘が起こる原因としては、加齢やストレス、自律神経障害等による腸管運動性の低下、腹部手術後の癒着、腫瘍による狭窄、抗うつ薬や鎮静剤等の薬物、食物繊維や水分の摂取不足などがあげられます。

表２　便秘の分類と原因

種　類		病　態	原　因
器質性便秘		大腸内腔の器質的狭窄による通過障害	腫瘍や炎症による大腸内腔の狭窄、手術後または炎症による癒着、先天性巨大結腸症や移動性S状結腸症などによる大腸の拡張など
機能性便　秘	弛緩性	大腸壁の筋緊張低下による蠕動運動の低下	運動不足、加齢、無理なダイエット、多産婦や腹筋の弱い女性、長期臥床、抗うつ薬や利尿剤、Ca拮抗剤などの薬物など
	けいれん性	大腸壁の過緊張によるけいれん	不規則な生活習慣ストレスなどによる自律神経のバランスの乱れ、過敏性腸症候群など
	直腸性	直腸肛門反射の低下	誤った排便習慣（便意があるのに排便を我慢しすぎる）、下剤の乱用など

（3）下剤のはたらき

下剤には大きく分けて機械的下剤と刺激性下剤の2つのタイプがあります（表３）。機械的下剤とは基本的に糞便の水分を増加させて柔らかくし排便を容易にさせる薬です。体内に吸収されないので習慣性がなく緩徐に作用します。刺激性下剤とは小腸や大腸の粘膜を刺激してぜん動（腸が糞便を押し出す動き）を促進させて排便を促進させる薬です。刺激性下剤には小腸粘膜を刺激するヒマシ油や大腸粘膜を刺激するタイプがあります。大腸刺激性下剤にはアロエ、センナ、大黄など生薬類に含まれる成分で小腸より吸収され血行性に大腸の粘膜を刺激するタイプ（アントラキノン系）と腸内細菌で分解され直接大腸粘膜を刺激するとともに大腸での水分吸収を抑制して糞便を軟化させる作用を有するタイプ（ジフェニルメタン系）があります（表３）。このように下剤と言っても色々な種類があり、便秘の状態に合わせた選択が必要です。

不必要な下剤の長期連用は習慣性を生じやすく、腸粘膜の炎症、小腸の吸収阻害、低血圧、不整脈などの副作用のおそれもあります。基本的に下剤は糞便の排泄を促進するものですから、腸の中に糞便がないと効果が出ず、腸のぜん動ばかりが促進してお腹がキリキリ痛んだり、場合によっては吐き気などを訴える場合があります。また、下剤の過剰投与や下剤の効果が長引くことで下痢を起こすことがあります。下痢が続くと水分吸収が減って脱水を起こす場合があるので十分な水分補給が必要です。

表３　下剤の分類と主な製剤

種類		商品名
機械的下剤	塩類下剤	カマ、マグラックス、マグコロール
	膨張性下剤	バルコーゼ
刺激性下剤	小腸刺激性	ヒマシ油
	大腸刺激性	アントラキノン系 センナ、アローゼン、センノサイド、プルゼニド、セネバクールなど
		ジフェニルメタン系 ラキソベロン、シンラック、ヨーピス、テレミンソフト（座薬）など

4 バリウムによる腸閉塞･腸穿孔予防に対する宮城県対がん協会の取り組み

胃がん検診を受けた後、バリウムは速やかに体外に排泄する必要があります。バリウムは体の中で消化・吸収されることはありませんから、検査で飲んだバリウムは小腸からすぐに大腸に流れていきます。バリウムが大腸を素通りすれば水のような状態でバリウムが排泄されますが、時間が経つと粘土のような塊になります。検査後に多量の水分と早めに食事をとっていただくのは、バリウムを糞便の中に散らして柔らかな状態に保つ必要があるからです。バリウムの混ざった糞便（バリウム便）の排泄を促すために、下剤を正しく服用する必要があります。

当センターでは胃X線検査を受けた方に“検査後の注意”を書いたチラシをお渡していますが、これをきちんと守っていただけていないことが問題となっています。宮城県対がん協会では検査後の下剤としてセネバクールというお薬をお渡ししていました（表３）。しかし、粒のお薬は飲み忘れが多く、特にご高齢の方でその傾向が高いことから、平成25年度の液状下剤ヨーピス（ピコソルファート）を予めバリウムに混入して下剤の飲み忘れによる排便トラブルを予防することにしました（図４）。

セネバクールとヨーピスとでは薬の作用が異なりますし、適量にも個人差があります。よく効いて下痢や腹痛が起きる人もいれば、粒の下剤のほうが良く効いたという人もいます。そこで検診会場の問診の際に、ふだんの排便状況や前年度の下剤の効き具合に応じて図５のように下剤を選択できるようにしています。普段から下痢しやすい方や前年度下剤が効き過ぎた方は検診会場で申し出て下さい。検査後にバリウムを速やかに排泄することが腸閉塞や腸穿孔の予防には一番大事です。それには受診者の皆様がきちんと検査後の注意を守っていただかなくてはなりません。

また、万が一バリウムが固まって排泄しにくくなったとしても、腸閉塞や腸穿孔が起きるのは検査後数日経ってからが殆どですので、速やかに適切な処置を行えば心配ありません。固まったバリウム便は、医療機関で腹部X線写真を撮ってから浣腸をかける、または、大腸内視鏡を使って固まったバリウム便を砕くなどの方法で取り除くことができます（図６）。自己判断で浣腸をかけるのは腸穿孔を起こす可能性がありむしろ危険です。検査後の注意をよく読んで、正しく下剤を服用しても翌日昼までに排便がない場合は当センター担当課にご連絡下さい。状況を聞いて適切な対処法をお話しします。24時間、土日祝日でも対応しています。

図４

胃X線検査の液状下剤混合バリウム投与法（H25.4～）

ヨーピス0.5ml～1ml混入したバリウム50ccで発泡剤を服用してもらい検査実施。

＊ヨーピス混入の確認のため食紅（黄）で着色。

↓

バリウム80ccを追加服用してから撮影を開始。
（バリウム合計130cc）

↓

検査終了後、予備のセンノシド4錠を渡す。
多めの水分摂取と早めの食事も勧める。

検査後の注意
（必ずお読みください）

図５

受診者の排便状況に合わせて下剤投与法を選択できるようにしました。

検診会場の問診にて排便状況・下剤効果確認

	通常（特に訴えなし）	前回効き過ぎ飲んだことがない	自己都合で下剤不要
液状下剤ヨーピス バリウム混入量	1ml	0.5ml	なし
手渡し分の錠剤の下剤（従来と同じ）	4錠	4錠	6錠

（H25.8～）

図６

万が一バリウムが固まって排泄しにくくなっても、速やかに適切な処置を行えば心配ありません。

腹部X線写真で直腸にバリウム便

大腸内視鏡でバリウム塊を粉砕・回収した。

5 検査後の注意を守って安全に胃がん検診を受けましょう

検査後の排便トラブルはきちんと対処すれば重症な事態に陥ることはありません。胃がん検診を安心して受けていただくためにも、“検査後の注意”（図４）をきちんと読んで書かれている内容を守って下さい。

がん講演会

９月10日（火）に仙台市民会館において平成25年度がん征圧月間「がん講演会」及び「がん予防パネル展」を開催しました。東京大学医学部付属病院放射線科准教授・緩和ケア診療部長の中川恵一先生から、「がんのひみつ」と題して、現在の「がん」の状況、発生のメカニズム、がんにかかりにくくするための生活習慣、治療方法等わかりやすく説明をしていただきました。

先生は講演の中で、がんをきちんと知ることで、ある程度は予防ができるし早期に発見し治療をすれば「がん」もほぼ完治できると話されていました。

同日は、ホール前ロビーにて「がん予防パネル展」を開催し、パネルや模型等の展示を行い、多くの人に顕微鏡でがん細胞を覗いてもらったり、乳房の視触診模型を使って自己検診法を体験していただきました。

また、「がん征圧月間」期間中には、県庁ロビーでのパネル展、各区役所での懸垂幕の掲示も行いました。

県庁ロビーパネル展示の様子

2013年度 がん征圧全国大会

―若い力、いのち輝け、北斗の指針―　をサブタイトルに９月13日（金）に北海道札幌市のさっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）において開催されました。

朝日がん大賞は地元北海道で長年にわたり対がん活動に取り組んでこられた北海道対がん協会会長の菊地浩吉氏が受賞され、日本対がん協会賞（６氏２団体）、がん征圧スローガン入選者・永年勤続者の各種表彰が執り行われました。

その後、日本対がん協会ほほえみ大使アグネス・チャンさんの「明るくさわやかに生きる～アグネスが見つめた命」と題した記念講演、次期開催地の福岡県支部から挨拶で盛会のうちに幕を閉じました。

アトラクションはＹＯＳＡＫＯＩソーラン祭りで上位入賞の常連である札幌国際大学のサークルチーム「コカコーラ札幌国際大学」の若さあふれるダンスパフォーマンスで会場は盛り上がりました。

朝日がん大賞を受賞された北海道対がん協会　菊地会長の開会挨拶

平成26年度がん検診事業説明会並びにがん予防研修会

平成25年10月４日（金）にフォレスト仙台において標記の説明会並びに研修会が開催されました。

午前中の事業説明会において、参集いただいた市町村主管課の皆様に加藤事務局長より次年度各種がん検診の取り扱いを中心に事業活動の重点ポイント等を説明させていただきました。

続いて、加藤消化器担当科長より、胃がん検診における偶発症の防止措置の取り組みについて「胃がん検診における液体下剤変更後の状況報告と今後の対応」として講演を行ないました。（本号特集記事参照）

午後の研修会においては、科学的根拠に基づくがん検診を正しく行うことが最良と住民に説明して受診率拡大に取り組んでいる東京都八王子市医療保険部成人健診課の菅野匡彦課長補佐の八王子市における「がん検診受診率と精度向上の取組みについて」と題した講演、続いて独立行政法人国立がん研究センターの濱島ちさと先生による「新胃がん検診ガイドライン」についてと題して最新の胃がん検診に係る国のスタンスが確認できる内容の講演により、聴講された方々への情報共有を行ないました。

がん予防教育事業

宮城県からの委託事業として、今年から小中学生を対象とした「がん予防教育事業」を行っています。この出前授業は、基本的な生活習慣が身につく子供のうちに、がん予防の大切さやがんに関する正しい知識を学んでもらうことが目的です。

当協会の保健師が申し込みのあった県内の学校に出向き、がんという病気はどのようにして生まれるのか、禁煙やバランスの取れた食事など生活習慣を改善することである程度予防ができる。また、定期的に検診を受けていれば早期病気を発見し治療することができることなどを説明し、最後に、お家の人と「がん」についての話をしてほしいとお願いしました。

今年度は、11の小中学校での出前授業を予定しております。

蔵王町立円田中学校での授業風景

仙台市立中野栄小学校での授業風景

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2013　みやぎ」に参加して

参加者　**奥山　里恵**

9月28日、29日「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2013　みやぎ」が名取市庁舎特設会場で開催されました。当日は、とても風が強くてルミナリエが風で飛ばされてしまい、急遽ルミナリエに入れるおもりを増やす作業に追われていました。その後風は止み、とても過ごしやすい天気となりました。

私はこのイベントの直前まで、不安な気持ちと、高ぶる気持ちを抑える事ができず、前日の夜はあまり寝ることができませんでした。会場は昨年の富谷と比べ小規模でしたが、一目で全体が見渡せ、意外とバランス的に良かった様に思います。ステージイベントでは子供たちの楽しい歌と踊り、様々なパフォーマンスで会場を盛り上げていました。夜通しのイベントでしたが、あっという間に過ぎた24時間でした。

さて、入職10年目の私は、恥ずかしながら今回の参加が２回目でした。昨年初めて参加させてもらった時に、今まで感じたことのない気持ちと感動を覚え、今年も参加しようと心に決めていました。今回の中で一番感動したのは、オープニングセレモニーの「サバイバーズラップ」でした。がん経験者の方々が自ら、今ここで歩いている喜びを心から感じ、素晴らしい笑顔で一周する姿にすごく熱いものを感じました。私ごとではありますが、昨年私の父は肺腺ガンを宣告されました。今までは“ガンなんて他人事”と思っていた我家族でしたが、私が今回の行事の趣旨を母に話をしたら、予告も無しに母と兄が会場に足を運んでくれたのです。私も突然の事で驚きましたが、父がガンを患った事で変わった家族の姿に誇らしく思いました。母と兄には「今日はありがとう」と気持ちを伝え、みんなで書いたルミナリエを案内しながら一緒に周回しました。仕事で来ることができなかった父でしたが、家族が参加した事で皆の思いを感じてくれた事と思います。

今回の宮城県対がん協会の参加数は53名、チーム周回は約350周、参加者全員の延べ数は3,000周でした。本当に沢山の方々の参加と支援に感謝致します。この活動も５回目となり、かなり浸透してきたように思いますが、まだまだ参加したことが無い方もたくさんいると思います。ガンとは切り離せないこの時代であり、ガンと闘うためのこの活動、必ず得るものはあります。今後、より沢山の方々に参加してもらう事を願います。

最後に、このイベントを運営していただいた実行委員の皆様と関係者の皆様、お疲れ様でした。また、来年に向けての準備が始まりますが、私たち参加者も意識の向上とPR活動、普段できる何気ない事から、この活動に繋げるため努力していきたいと思います。

一番町啓発行進

９月１日（日）今回で５回目となる一番町がん検診啓発行進が午後２時から３時まで、仙台市役所前広場を出発し、一番町アーケードを南下し青葉通りまで実施いたしました。今年も「がん征圧月間」の一環として、宮城県・仙台市をはじめ、宮城県地域婦人団体連絡協議会、みやぎよろこびの会会員、またがん啓発及びがん検診の受診率向上に向けた協定を締結している企業の方々にも参加をいただきました。当日は台風の影響が心配されましたが、天気にも恵まれ30度を越す猛暑の中、がん検診の重要性をアピールしながら啓発行進をしました。

ママ友検診

９月14日（土）がん検診センターにおいて、「ママ友検診」が開催されました。

この企画は、０から３歳の子供を持つママが「当日、子どもが熱を出してしまい予約をしづらい」「待合室で子どもが待っていられないので検診に行きづらい」などの理由から、その解決策として発案されたものです。

当日は10名のママさんが子どもたちと来協しました。今回は県内のママが検診のやり方を学ぶワークショップを実施、現地のママが友達と一緒に検診できる環境づくりを目指すという目的で行われました。

ワークショップを行ったあと、田勢細胞診センター所長が子宮頸がん検診を担当し、ママさん方には「検診の大切さ」を再認識していただきました。

健康まつり

- ７月１４日（日）加美町「げんき加美町」
  場所：加美町やくらい文化センター
- １０月１３日（日）第２回石巻市民食育健康フェスティバル
  場所：石巻市河北総合センター（ビックバン）
- １０月１９日（土）「がん予防展in石巻」
  場所：石巻イオンモール
- １０月１９日（土）～２０（日）大崎市健康と福祉のつどい
  場所：大崎市古川保健福祉プラザ
- １１月１０日（日）気仙沼市健康フェスティバル
  場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
- １１月１０日（日）色麻町保健福祉センターまつり
  場所：色麻町保健福祉センター
- １１月２４日（日）丸森町健康と福祉のつどい
  場所：丸森中学校体育館
- １２月　７日（土）栗原市健幸まつり
  場所：栗原市みちのく伝創館

がん予防展in石巻の様子

みやぎよろこびの会活動報告

第46回みやぎよろこびの会大会

9月10日（火）仙台市民会館において第４６回みやぎよろこびの会大会が開催されました。

当日は宮城県知事をはじめ、山形まめの会、しゃくなげ会の方々、また多くの会員の出席により盛大な大会となりました。

大会では、会長表彰5名と術後10年を経過した3名の方々に賞状や記念品が贈呈されました。

情報交換会では、各支部の芸達者が歌や踊りを披露して、会場は大いに盛り上がりました。

各支部の活動

10月２日（月）涌谷町イオンショッピングセンターにおきまして、よろこびの会涌谷支部会員と涌谷町健康課による検診受診勧奨を目的とした広報活動を実施いたしました。

10月12日（土）丸森支部主催の「いも煮会」が開催されました。今年も丸森町不動尊公園キャンプ場を会場に、当日は天気にも恵まれ、また土曜日とあって会場のいたるところで多くの人がいも煮を楽しんでいました。会員どうしに加え一般の方とも交流が図れました。

11月６日（水）栗原市連絡協議会において、第５回会員親睦ゲートボール大会が開催されました。

当日は栗原市一迫総合運動公園特設会場で、一般の方々を含め約70名の参加となりました。大会は市民と交流の場を持つことによって、相互の体験や生活習慣の工夫と改善・定期的な検診の充実強化を図り、より快適な生活を営むよう努力することを目指すというもので、ゲートボール場は熱き戦いが繰り広げられました。

公開講座

「がんになっても自分らしく過ごすために ～病気になった時に知っておきたい情報～」

宮城県がん総合支援センターに寄せられた相談内容とアドバイスの例を紹介したり、がん体験者の体験談を聞いていただいたりして、がんに罹り向き合ったあるいはこれから向き合う可能性のある全ての方への情報提供の場として11月27日（水）丸森町保健センターにおいて開催いたしました。

最初に「相談員に寄せられた声から」と題して宮城県がん総合支援センター谷川禎子相談員より講演（情報提供）の後、みやぎよろこびの会丸森支部と山元支部の代表者から体験発表をしていただきました。

その後、グループに分かれてテーマに沿って語り合いを行ない総括する形で会を終了いたしました。

今後も2人に1人はがんに罹患する状況をふまえ、多くの方に相談支援センターや患者会の情報を発信していければと考えております。

★県北地区においても平成26年１月28日（火）涌谷町医療福祉センターにおいて開催予定です。

リボンムーブメントみやぎ

「大切な人に、大切なことを、大切だと伝えよう」をコンセプトに、若い女性に多い子宮頸がんの正しい知識の普及と予防行動の啓発活動を行っている学生を中心とした団体です。

もともと首都圏の女子学生たちが集まって活動を始めましたが、宮城県でも平成24年6月から活動を始め、県内の学生たちを対象とした「がん予防教育事業」に参加して検診の大切さを訴え、子宮頸がん検診受診率向上のための働きに協力いただいております。

今年度は、新たに当協会で作成している子宮頸がん検診受診啓発ポスターの製作を、企画からモデル集めそして撮影まで担当いただきました。このポスターの製作過程で、がん検診センターの施設見学や職員との検討会を行い、啓発活動の基礎知識を得る良い学びの機会となっただけでなく、当協会としても若い方への啓発活動を行う上での新たな視点に気づかされました。

さらに全国的なイベントとして「七夕ガールズアクション」を若いママさんたちのグループ「スタンド・フォー・マザーズ」とタイアップして企画し、仙台七夕の前日に藤崎デパートの前で行いました。このイベントは検診の大切さを訴えると同時に、自分の愛する人にメッセージを送ろうというもので、200名以上の方からメッセージをお預かりしました。スタッフ全員が浴衣姿で応対し、ちょうど七夕前夜祭に向かう人々や若者たちと検診の大切さを一緒に考える良い機会となりました。

定期的なミーティングの中で、せっかく地元の市町村から受診通知書が届いても地元の産婦人科でしか受診できなかったり、授業時間の関係などで受診しにくいなどの声が上がっています。

メンバーそれぞれが授業や実習などで忙しく、みんなで集まったりイベントに参加することがなかなか大変です。さらに就職活動などの為に一時期リボンムーブメントの活動をお休みせざるを得ない状況もあります。そのような困難な状況下で、後継者の育成も課題となっています。

当協会としても、より多くの方に検診を受けることの大切さを訴え続けていくことが必要だと考え、このような若者の自主的な活動を支えていきたいと考えています。

「リボンムーブメントみやぎ」の活動に関しては是非ホームページ（http://ribon-m.com/）をご覧ください。

無料！「がんの悩みや不安を気軽に相談してください」“がん相談”のお知らせ!!

「がん総合相談」のご紹介

宮城県対がん協会は、医師による無料の「がん総合相談」を行なっております。

ご家族の治療法や生活、セカンドオピニオンの受け方や患者の支え方など、ご本人やご家族のさまざまな悩み、不安、疑問などの相談に応じます。

完全予約制ですので、電話でお申込みいただき相談日を調整させていただきます。相談は面談方式で、時間はお一人様30分までとさせていただきます。

相談は無料ですので お気軽にご予約 ください。

宮城県仙台市青葉区上杉５－７－３０
お問い合わせ・予約申込　宮城県対がん協会
022-263-1525（平日10：00～17：00）
面談日時を調整させていただきます。

お知らせ

平成24年4月1日より、「公益財団法人　宮城県対がん協会」として再スタートした当協会が実施している公益事業をご紹介するＤＶＤ映像が完成いたしました。

毎日がん検診センター内で上映されている他、当協会ホームページよりユーチューブでも視聴可能ですので是非ご覧ください！

ご寄付をいただいた個人・法人

2013年６月１日～2013年11月30日受付分
<順不同・敬称略>

■篤志寄付金
角田市職員労働組合、日本生命矢本営業部、石川司之、寺島久美子、渋谷大助、長谷部豊、株式会社アース・オービット、職員有志

■特定維持会員
コセキ株式会社、七十七リース株式会社、大友クリーニング店、堀井薬品工業株式会社、東京特殊車体株式会社、株式会社仙台銀行、同和興業株式会社

■賛助会員（議会）
登米市議員会、丸森町議会事務局、亘理町議会議員会、涌谷町議会事務局、石巻市議会議員会、七ケ浜町議会事務局、女川町議会事務局、村田町議会事務局、多賀城市議会、美里町議会事務局、松島町議会事務局、利府町議会事務局、大郷町議会事務局、栗原市議会事務局、山元町議会事務局、大河原町議会議員互助会、大衡村議会事務局、塩竈市議会事務局、柴田町議会事務局、富谷町議会事務局、蔵王町議会事務局、名取市議会議員会、色麻町議会事務局

■賛助会員（仙台市議会）
小山勇朗、鈴木繁雄、大泉鉄之助、石川建治

■賛助会員（岩沼市議会）
高橋孝内、大友克寿、布田恵美、酒井信幸、櫻井隆、佐藤一郎、森繁男、国井宗和、長田忠広、宍戸幸次、飯塚悦男、佐藤淳一、沼田健一

■賛助会員（大和町議会）
今野善行、浅野俊彦、千坂裕春、渡辺良雄、松浦隆夫、門間浩宇、槻田雅之、藤巻博史、松川利充、伊藤勝、平渡髙志、堀籠英雄、髙平聡雄、馬場久雄、中川久男、大崎勝治、堀籠日出子、大須賀啓

■賛助会員（法人）
株式会社ダイコクヤ、株式会社小山商会、仙台弁護士会、株式会社シーエス・オペレーションズ、ツバキ薬局、株式会社文化堂、株式会社石井組、有限会社岩沼屋ホテル、第一貨物株式会社仙台東支店、東北労働金庫、仙台コカ・コーラボトリング株式会社、勝山企業株式会社、上西産業株式会社、カイリク株式会社、株式会社佐々直、株式会社ショクテン、東北共栄建設株式会社、松林商事株式会社、松田産業株式会社環境事業部仙台営業所、ワタヒョウ株式会社、株式会社ヨコハマタイヤサービス東北、東興産機株式会社、仙台和光純薬株式会社、有限会社おでん三吉、気仙沼商工会議所、三宝物産株式会社、仙南信用金庫、株式会社仙台カントリークラブ、中島プラント株式会社、宮城商事株式会社、株式会社渡辺採種場、株式会社羽田電機工業所、株式会社ビー・プロ、宮城県自動車事業協同組合、東日本メディカルシステム株式会社、株式会社佐浦、株式会社西仙台ゴルフ場、東日本興業株式会社、株式会社ペンギン薬局、株式会社毎日広告社仙台、宮城石灰工業株式会社、涌谷観光株式会社、志津川オリエント工業株式会社、有限会社ふじや千舟、宮交自動車整備株式会社、有限会社上杉会計事務所、クレア工業株式会社、仙台ガス保安工事株式会社、

白石商工会議所、武田公認会計士事務所、宮城県中小企業団体中央会、コヤマリネン株式会社仙台事業所、株式会社鐘崎、株式会社三陸新報社、宮城中央ヤクルト販売株式会社、あすか製薬株式会社東北支店、アルプス電気株式会社古川工場、常盤洋紙株式会社、常盤化工株式会社、株式会社宮城テレビ放送、七十七コンピューターサービス株式会社、株式会社仙台放送、奥山工業株式会社、株式会社三陸河北新報社、株式会社ウェルネス伯養軒ケータリング営業部仙台支店、石巻魚糧工業株式会社、弘進ゴム株式会社、株式会社三株園茶舗、株式会社佐藤製線所、古川商工会議所、（公社）宮城県宅地建物取引業協会、学校法人朴沢学園、株式会社メガネの相沢、出光リテール販売株式会社東北カンパニー、カガワ印刷株式会社、有限会社アツミ自動車、株式会社イメージパーク、石巻商工会議所、塩釜商工会議所、東北福祉大学、株式会社リバーヴ、株式会社小田島、株式会社藤崎、塩野義製薬株式会社仙台分室、仙建工業株式会社、東北特殊工業株式会社、仙台商工会議所、カメイ株式会社、仙台空港ビル株式会社、笹氣出版印刷株式会社、東北インフォメーション・システムズ㈱、株式会社ひまわり薬局、宮城十條林産株式会社、医療法人みやぎクリニック仙台画像検診クリニック

■賛助会員（医師会）

●仙台市医師会：多田和弘、福田一彦、伊藤賢司、遠藤潔、下田茂、桑野昭彦、武山恒男、千葉守、宮田隆光、妹尾重晴、榛澤清昭、松原修二、大山明、小林守治、白根昭男、塚本二郎、武田鐵太郎、今井克忠、丹野恭夫、新井宣博、村口喜代、宮﨑敦史、虎岩紘子、遠藤文雄、小林正資、佐藤裕也、長島道夫、早川哲夫、星曠夫、森俊彦、結城隆俊、山形倫、本島正、仙台北部整形外科、鬼怒川博久、相田内科医院、角安雄、草野仁、長谷川純男、宮崎豊、長町病院、佐藤信二、五十嵐稔、内山貞也、鬼怒川雄久、京極芳夫、仙台オープン病院、豊田隆謙、名倉宏、堀克孝、山本敏行、本多博、吉田仁秋、和田裕子、仙台総合放射線クリニック、酉抜和喜夫、東北公済病院、金原孝行、猪岡英二、阿部信彦、大滝忠、鵜浦奈加子、長池文康、藤田直孝、北川正伸、桃野耕太郎、湯村和博、加納一毅、五十嵐彰、佐藤茂、長谷川桂子、森洋子、森元富造、五十嵐裕、髙橋剛、京極士郎、高橋秀典、神裕子、将監耳鼻咽喉科、大澤寛寿、古賀詔子、伊藤益次、佐藤玄徳、李茂基、嘉数研二、塩野貴、佐藤昭彦、寺岡クリニック、齋藤創、佐藤勤、安田病院、渡邊睦生、山家泰、仙台赤十字病院、いずみの杜診療所、内田直樹、福島健泰、髙橋克、熊谷榮雄、武者盛宏、三好彰、佐藤弘房、山田尚子、松本文子、遠藤克博、町田晶子、綿谷秀弥、村上胃腸科クリニック、馬場安彦、井上廉、猪股紘行、今井克彦、大宮光昭、三品直子、山口尚、津田克二、安藤健二郎、木下弘志、結城道広、大山武、庄子内科クリニック、柿崎健二、宍戸輝彦、清水雅行、武山大也、宮城社会保険病院、大方高志、山口千鶴、貝山仁、星宏紀、仙台東脳神経外科病院、太田憲道、佐藤泰彦、広南病院、草刈内科、笠井豊、戸田守彦、竹中正之、根本忠義、仙台逓信病院、早坂得良、引地久春、道又勇一、小田泰子、東北薬科大学病院、仙台厚生病院、山家喬、曽根眞一郎、仙台腎泌尿器科、角田千恵子、角田胃腸科・内科クリニック、湯村良一、河原町病院、朴沢孝治、五十嵐章、熊谷均、今村幹雄、仙台産業医科診療所、佐藤彰、及川浩助、矢田部宏一、三好進、永沼昭太郎、井上重夫、広瀬病院　**●白石市医師会**：本多三學、佐藤恒明、浅野俊弘、小松和久、佐藤秀一、海上寛、公立刈田綜合病院、塚本和彦、三浦義邦、梅津佳英　**●柴田郡医師会**：河内三郎、佐藤和宏、甘糟仁、みやぎ県南医療生活協同組合、太田繁興、安藤幹郎、国民健康保険川崎病院、毛利裕之、大沼利行、宮上順志、仙南中央病院　**●角田市医師会**：横山正和、ウィメンズクリニック金上、同済病院、高山敦、小川俊哉、仙南病院　**●亘理郡医師会**：山形成徳、三浦俊治、三上雅嗣、浅野眼科医院、大友医院ヒロミ小児科、米谷俊男、熊谷明　**●黒川郡医師会**：公立黒川病院、大平千秋、大平裕子、田山利幸、遠藤敦、医療法人社団 清瑞会、吉永ひろ子、清野正英、林哲明　**●加美郡医師会**：鈴木啓之、鈴木治、及川正道、加美郡保健医療福祉行政事務組合、大山匡、伊藤明一　**●大崎市医師会**：森紘子、渡辺麟也、大久保孝一、小野寺敦、小野玲子、佐藤和朗、渋谷昌良、（公財）宮城厚生協会古川民主病院、伊東市男、三浦裕一、近江徹廣、髙橋郁朗、三浦一雄、冨樫孝、大崎市民病院岩出山分院、大崎市民病院鹿島台分院、大崎市民病院、永仁会病院、岩渕仁寿、菊地玄、木幡光彰、小野貞文、村田慶一、佐藤寛　**●遠田郡医師会**：野崎公男、佐々木和義、袖井文二、美里町立南郷病院、伊勢郁夫、熱海智章、涌谷町国民健康保険病院　**●桃生郡医師会**：櫻井忠実、伊東正一郎、加藤玲子、舘田要、藤野裕、栗原洋志、河野秀信　**●登米市医師会**：佐藤厚史、田中悟、遊佐不三雄、二瓶次郎、湊敬一、登米市立登米市民病院、登米市立よねやま診療所、小澤道孝、登米市立豊里病院、三浦守正、菅原盛家、森明彦、木村康一、佐藤尚、八嶋徳吉　**●塩釜医師会**：赤石病院、池野暢子、今井信行、岩井修一、氏家紘一、遠藤義晃、小野寺仁至、及川潤一、大井知教、小幡正明、金俊夫、齋恒夫、坂総合病院、塩釜医師会消化器部会、塩竈市立病院、鈴木健史、鈴木室生、関晴夫、関口淳一、仙塩利府病院、高橋晋、高橋輝兆、冨永泰之、鳥越紘二、中山大典、林義峰、平澤善久、平澤頼久、藤野茂、藤谷浩、本間正明、松下真史、松島病院、宮城利府掖済会病院、宮田幸比古、無量井泰、山田憲一、渡辺広己、井筒憲司、黒澤久三、薗部太郎、鈴木ヒトミ、渡辺孝志、涌坂俊明、遠藤英敬、小片邦穂、藤原竹彦、真栄平昇、横山義正、高橋裕一、角田和彦、小鷹日出夫、鹿島哲、鈴木隆志、佐々木泰夫、大井嗣和、加瀬クリニック、更科広記、杉山幸一、山田耕道　**●石巻市医師会**：石巻赤十字病院、阿部洋一、相沢正俊、伊藤健一、川村尚道、小林龍夫、佐藤信男、坂井武昭、高橋邦明、舘田治、中嶋正彦、二宮健次、箕田紳一郎、矢崎重彦、田中典和、久門俊勝、渡邉祐、川原田博章、舛眞一、千葉淑朗、荒井啓史、佐藤純、佐藤清壽、高屋りさ、山本博尚、石塚圭一、矢吹法孝、古山元之、千葉淳　**●栗原市医師会**：佐藤自伸、渡邉泰、三浦正明、栗原市立栗駒病院、宮城島クリニック、栗原市立栗原中央病院、佐々木浩、菊田公一、佐々木裕之、栗原市立若柳病院、高橋和彦　**●名取市医師会**：小林芳江、曽我内科こどもクリニック、名取中央クリニック、丹野尚昭、佐藤滋、佐々木英彦、干田元、桑島一郎、守昭夫、丹野兼夫、田勢亨、宮城県立がんセンター、原田雄功　**●岩沼市医師会**：緑の里クリニック、山本クリニック、町田幸雄、有田大作、青木恭規、板橋隆三、中川榮子

■賛助会員（宮婦連）

●小斎婦人会：天野八重子　**●多賀城市婦人会連合会**：渡辺とめ、桜井やえ子、酒井和子、赤井つや子、松田允子、平山千秋、渡辺ゑな子、星繁子、庄子よし江、平山照司、鈴木絹子、白濱宣子、稲葉愛子、田母神充代、堀米喜代子、浦山さつ子、千葉三津子、大友良子、佐藤聰子、伊藤マサ子、桜井昌子、鈴木誠子、小野くに子、門田昭子、西とし子、熊谷紀子、鈴木臣子、加藤たき子、後藤みよ子、相沢良子、笹原うた子、菊田百合子、武中悠子、江釣子真理子、西大條新津子　**●大和町吉田婦人会**：堀籠さと子、早坂真知子、堀籠美江子　**●若柳婦人会**：上田泰子、今野とし子、菅原てるよ、中島とめ子、佐藤律子、長澤満喜子、阿部てつ子、石川隆子、菅原茂子、高橋八重子、菅原留子、岩渕美代子、高橋まし子、千田起久子、小野寺温子、高橋幸子、武田てる子、千葉智恵子、鈴木郁子、山崎千恵　**●岩沼市婦人団体連絡協議会**：本間英子、櫻井まさよ、吉田八重子、渡辺成子、髙橋たづよ、大村純子、小関寛子、岩間かつ江、相原好子、菊地かつ子、酒井美枝子、残間洋子、小貫英子、富沢令子、加藤ち江子　**●鶯沢婦人会**：小野寺美重、鈴木民子、髙橋ちよ子、髙橋龍子、千葉たつ子　**●鹿島台婦人会**：佐藤孝、小堤キエ子、久道カヨ子、金澤とよの、栗田正子　**●色麻婦人会**：佐々木りえ子、佐々木やす子、斉藤都志子　**●大和町鶴巣婦人会**：藤倉多香、小野啓子、馬場郁子　**●柴田郡婦人会連合**：佐藤トシ、竹野幸子、佐藤房子、水戸和子、遠藤勝江、八巻まし子、高橋敏子、髙橋智恵子　**●松山婦人会**：佐々木あい子、松坂せつ子、大友紀、川江礼子、小野政子、小関裕子、細川みどり、阿部とし子　**●筆甫婦人会**：目黒登美子　**●米山婦人会**：小松れい子、佐々木邦子、三浦きさ子、佐藤ヒサ子、髙橋ひさよ、橋本栄子、加藤京子、水野トヨ子　**●宮崎婦人会**：猪股和子、伊藤良子　**●大張婦人会**：大槻静江　**●大郷町大松沢婦人会**：木村静子、高橋みや子　**●岩出山婦人会**：高橋瞭子、飯田延子、菅原玉枝、加藤志美江、工藤信子、佐々木好美、大場恵美子　**●古川地婦連**：大友富子、鈴木ゆう子、菅原末子、熊谷弘江、佐々木登貴子、岡本道子、永塚正子、佐々木國子、西村信代、晴山たえ子、阿部みえ子、門脇文孔、木村一枝、木村洋子、高橋輝美、佐々木之子、門脇宗子、鹿野孝子、平山かつみ、紺野京子、高橋ますゑ、佐々木重子、我孫子妙子、三浦博子　**●利府町婦人会**：伊藤きよみ、高橋よし子、峯岸悦子、貝山昭子、荒井美代子、小畑照子、品部陵子、加藤綾子、高橋良子、加藤祐子、遊佐和枝、渡辺みえ子、伊藤恵子、八戸政子、西澤久子、佐藤ちよ、渡辺悦子　**●女川町婦人会**：鈴木典子、横内静子、飯塚律子、阿部とまえ、阿部その子、須田悦子、近藤くに子、岸サワ子、平塚とみ子、阿部けい子、木村あさえ、小山栄子、高橋京子、伊藤文子、遠藤尚子、鈴木信子、東海久美子、浜野喜久子　**●遠田郡婦連**：瀧川澄江、大村涼子、寺尾登茂代、御守克子、中村ゆり子、相沢孝子、菊池千恵子　**●七ヶ浜町婦人会**：鈴木弘子、鈴木洋子、稲妻真知子、伊丹はるの、

佐藤あき子　**●松島町婦人会**：後藤澄子、及川佳子、赤間昭子、櫻井寿美子、千葉泰子、飯川ツル、横田きえ子、内海富子、内海美子、高橋きぬ子、村上和久子、高城尚子、奥平せつ子、鈴木紘子、櫻井貞子　**●大郷町大谷婦人会**：高橋一子、宮本なを子　**●丸森婦人会**：小野つや子　**●金成婦人会**：千田京子、鈴木常恵、髙橋あき子、渡辺和子、菅原かつゑ、石川セイ子、石川昌子、小岩久子、菅原ケイ子、佐藤繁子　**●新田婦人会**：髙橋信子、佐藤啓子、伊藤ゆみ子、津田節子、遊佐牧子、久光教好、小林愛子、星ユキ子、新田律子、笠原貴代子　**●築館婦人会**：佐々木正子、佐藤昌子、菅原英子、高橋則子、三塚紀代子、藤田経子、白鳥起代、後藤よつ子、長谷川美子、鈴木由紀子　**●鳴子地区町内会婦人連絡協議会会員一同**　**●塩釜市婦人会**：浅野ひろ子、菅原盛子、我妻キクエ、佐々木和恵、佐藤文子、中村和子、石川とし子、三浦あい子、阿部かほる、内海みな子、小野和恵、阿部豊子、鈴木綾子、千葉栄子、鈴木禮子、田中さよ子、千葉知子　**●舘矢間婦人会**：佐藤智子、宍戸照子、塚原るり子、横山ちまよ、佐藤伸子、田口秋子　**●佐沼婦人会**：佐々木満子、佐々恵子、佐藤ヒサ子、佐藤恵子、男澤隆子、高橋あい子、長谷哲子、浅野和子、遊佐富士子、高橋絹子、阿部喜江子、鈴木タキ子、岩崎喜代枝、高田貞子、大場きみ子、千葉すえ子、猪股裕子、伊藤桂子、小田嶋カツ子　**●志波姫婦人会**：尾形郁子、中川悦子、高橋かよ子、高橋あき子、佐藤光子、相馬桂子、高橋俊子、鈴木まさ子、三浦和代、三浦末枝　**●花山婦人会**：千葉ゑさ子、三浦妙子、菅原加津子、佐藤敏子、山田はつみ、千葉レイ子　**●中田婦人会**：三浦しん、柴田慧、吉田節子、佐藤頼子、五嶋敬子、佐藤千賀子、石川クニ子、堀内悦代、畑山信子、佐々木やゑ子、三浦節子、三浦テツ子、鈴木てい子、皆川せつ子　**●大塩婦人会**：眞籠聖子、須田栄子、高橋沙代、桜井あや子、渥美静子、野村たま子　**●一迫婦人会**：氏家あい子、菅原きよみ、曽根真子、熊谷初美、三浦一子　**●白石市地域婦人団体連絡協議会**：阿部初子、栗原幸江、吉川淑子、阿部ゆり子、佐藤洋子、高子せつ子、佐久間和子、石川照代　**●角田市地域婦人会**：鎌田三千子、森愛子、遠藤美代子、伊藤紀代子、菅原よし子、太田美也子、中畑繁子、玉手富美子、保志都、仙石茂子、保志とみ子、菅野せつ子　**●亘理町亘理婦人会**：小泉えみ子、若松捷子、佐藤キクヨ、渡辺みつ江、高橋泰子、齋藤クニ、齋藤アキ子、菊地洋子、岩見富子、佐藤節子、丹野敦子、三戸部とし江、小野寺貞子、金沢桂子、太細日出美、戸引よし子、尾形ミエ子、松本あや子、相原成子、佐野みさゑ、馬場さえ子、佐藤照子、斉藤みよ、佐藤徳子　**●亘理町荒浜婦人会**：濱野かじ子、橋本かつ子、阿部みや子、宍戸都賀子、馬場道子、橋本貞子、佐藤冨美子、武者信子、鎌田安子、宍戸ひろ子、森恵子、永浜由紀子、渡部とし子、村田みつ子　**●亘理町逢隈婦人会**：八巻富士子、南條繁子、渡辺禮子、加藤久美子、三品せつ、佐藤祐子、今野秀子、菱沼和子、猪股和子、齋よね子、渡辺芳、鈴木まさ子　**●亘理町吉田西部婦人会**：大槻かづ子、小野節子、大河原正子、松山芳子、安藤和子、大河原みつ子、玉田しげ子、安藤美重子　**●亘理町吉田婦人会**：本間利子、齋藤かつよ、宍戸浩子、岩佐美津子、鈴木和子、岩佐直子、千葉きよ子、丸子常代、齋藤律子、佐々木ミヨ、齋藤桂子、小野美佐子、鈴木好子、大堀トモ子、浅川純子、木田好子、横山宣子、森美奈子、小野典子、小野礼子、高橋加代子、森智子、川崎カツ子　**●名取市婦人会連合**：斎藤栄子、橋本公子、渡辺勝子、三浦よね子、佐藤久子、本郷セイ子、太田恵美子、江口清子、渡辺洋子、齋藤重子、高橋志津枝、大久あき子、高橋ケサエ、渡辺八重子、佐藤美恵子、大友勝子、中沢直子、大友日出子、秋塲ふみ子　**●東松島市矢本婦人会**：三浦絢子、阿部京子、菅原湛子、相澤数子、青木恵子、大江すみ子、戸田里、三浦亨子、菅原啓子、佐藤豊子、津田美枝子、佐藤多喜子、豊島敬子、五野井文子、菊地翼子、西潟寿美、浅野美枝子、田中敬子、木村久美子、木村礼子、後藤伊都子　**●石越町婦人会**：千葉秀子、千葉喜久子、高橋弘子、千葉妙子、大沼和子　**●石越地区婦人会**：千葉淑江、金野正子

■個人

島田平八、志賀宣子、岩田恒一、髙橋龍郎、三浦俊一、我妻宗夫、渥美洋子、青野昌子、及川力、織田信夫、片岡秀雄、北村優、佐伯晴郎、羽賀亨、三島法律事務所三島卓郎、阿部利子、我妻幸充、市川信昭、山口正彦、村上卓也、高橋了子、若生則子、木村亨、児嶋なつ子、髙橋正子、阿部はつ江、亀山米子、菊池世津、佐藤孝之助、代理店北斗佐藤不二夫、菅原傳、笹原啓子、安達三郎、岩田孝夫、佐藤好子、阿部美代子、阿部信子、加藤暢郎、黒川平司、岡嶋徹、関口清、荒木昭、尾坂芳夫、熊谷豊吉、澤田幸男、鈴木昭子、曽根清秀、福地俊明、山口正一、亀山省吾、佐藤長三、渥美ヤエ子、辻るみ子、皆瀬明、佐藤京子、猪狩惺、安住泰子、亀岡直樹、佐野國男、門間典子、安海こう子、鈴木セツ子、中沢きく子、髙橋敬一、阿部美津江、税理士小林茂夫、嶋美香、内海春壽、三浦みよ子、高橋治、鈴木八郎、佐々木海風、藤代大、田中一寿、亀山喜美子、木村冨士、阿部せつ、堀口秀子、ひまわり法律事務所弁護士佐々木健次、石川ひてみ、土井敏暉、清藤恭雄、阿部英見、犬飼健郎法律事務所、越後愛子、小松亀一法律事務所、森健一、泉あさの、桜田良子、菅井正治、八島ふみ、安藤裕子、柴原和子、阿部純二、海川ヒデ、鈴木ハツヨ、橘川光男、栗和田剛、湯田教恵、布田直樹、斎藤淳子、井上眞由美、伊東信吉、髙橋啓、小笠原渉、只野一宏、桃井貞夫、三部哲也、高橋是清、千坂みゆき、大友美智子、富樫美由紀、中川朋美、泉田京子、阿部洋

賛助会員(個人･法人の継続寄付)募集中

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究、がん登録管理等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。個人の方の場合、従来までの「所得控除方式」に加え、新たに**「税額控除方式」**も適用されることになりました。確定申告の際にどちらかを選択して控除を受けることが出来ます。

《 寄付金の種類 》

- **賛助会員寄付**　協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
  - 個 人 会 員　　1口　1,000 円以上の寄付者（個人）
  - 法 人 会 員　　1口 10,000 円以上の寄付者（団体・法人）
  - 特定維持会員　　寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
- **篤志寄付**　協会の活動に対する一時的な寄付金
- **黒川基金**　黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。

ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。

公益財団法人　宮城県対がん協会・がん検診センター

〒 980-0011 仙台市青葉区上杉 5-7-30

TEL 022-263-1525　FAX 022-262-3775

平成26年度
「黒川利雄がん研究基金」
研究助成金希望者募集

この基金は、当協会の初代会長である故黒川利雄先生の遺志を継ぎ、がんの予防及び早期発見、治療に関する技術の開発等に係わる若手研究者に対し、研究助成を行うことを目的に平成元年に創設されました。平成25年までに、103人に対し6,690万円の助成金を交付しています。

1 研究対象分野と応募資格

我国のがん予防および早期発見に関する技術の開発等、がん対策に係わる研究を行う50歳未満の個人および団体で、以下の研究分野を対象とする。

（1）がんの疫学および集団検診に関する調査・研究・開発
（2）がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発

2 申請手続き

申請者は宮城県対がん協会の理事または、貴所属長の推薦を受けた者とする。

3 応募件数および推薦件数

1個人・1団体または共同研究グループで1件とし、推薦件数も1人1件とする。

4 助成金の額

助成総額は**220万円**とし、研究助成金1件あたり**100万円**を限度とする。

5 応募手続き

応募希望者は下記宛に**ハガキ**または**FAX**で申し込むか、当協会ホームページより**申請書類をダウンロード**の上申し込むこと。

〒980-0011　仙台市青葉区上杉5丁目7番30号
公益財団法人 宮城県対がん協会「黒川利雄がん研究基金」事務局 宛
TEL 022-263-1637　FAX 022-263-1548　http://www.miyagi-taigan.or.jp

6 募集期日

【公　　募】 平成26年1月　　【応募締切り】 平成26年3月末日

7 発表交付

【発　　表】 平成26年5月　　【交　　付】 平成26年6月

編集・発行／公益財団法人 宮城県対がん協会法人事業課 〒980-0011 仙台市青葉区上杉五丁目7-30 TEL:022(263)1525 FAX:022(263)1548
ホームページアドレス:http://www.miyagi-taigan.or.jp　Eメールアドレス:houjin@miyagi-taigan.or.jp